

近江八幡

白鳥川新聞

白鳥川の景観を良くする会
生き物発見学習支援班
編集 鈴木

夏場の除草作業応援に

今年も羊さんが白鳥川に登場!



7月6日 白鳥川に放牧された直後

今年も白鳥川に3匹の羊達が県畜産技術振興センター(日野町)よりやって来ました。

夏場は特に葛(くず)つるの性植物の成長が著しく、除草作業の大きな負担となっていました。葛が大好物による羊達の除草効果と人に癒しを与えてくれる

相互効果から、当会が白鳥川河川敷への羊の放牧申請を滋賀県東近江土木事務所に申請。昨年の放牧実績も踏まえ承認されたものです。今年も羊宿舎を倉庫内から屋外に変更や放牧柵を延長するなどの改善が行われています。



葛の葉っぱを子どもさんがあげています

放牧されて最初の日曜日の7月10日のお昼前、NHKテレビやその他多くのメディア報道で知られたのか、羊達を見に多くの親子連れが次々と来られ、お子さんが牧柵の外から羊達に声を掛けて葛の葉っぱをあげていました。当日は特に暑い日でしたが、「僕お昼ご飯食べてからまた来るよ!」という児童の話し声も聞こえるなど、とても好評でした。

なお、放牧について場所・白鳥川土田大橋下流の右岸河川敷(医療センター前)(夜間は牧舎)・時間(朝8時半〜夕方5時半まで)・期間(8月24日まで)。



7月6日~7月17日まで羊さんがいた後



7月17日から羊さんの場所移動前草の状態

羊達の名前が決まります
当会では、一般の方から3匹の羊達の名前を募集したところ多くの応募を頂きました。羊達のお名前は近々決定し牧柵に発表表示されます。多くの応募ありがとうございます。今後共よろしくお願い致します。

白鳥川・桜まつり

「桜ぼんぼり」点灯式

子ども達の願いや夢を託した桜ぼんぼりにあかりを!



副市長と吉田代表の点灯



副市長のご挨拶



4月2日(土)午後5時より毎年恒例の白鳥川桜まつり「桜ぼんぼり」点灯式がサンロード白鳥橋横の会場(駐車場)で開催されました。冒頭はシンガーソングライターの上昇氏による4台のシンセサイザーを駆使しての演奏とよし笛演奏が行われました。

式では吉田代表の挨拶と活動報告が行われ、この後津村副市長・社会福祉事務局長・総合医療センター・桐原東小学校長・白鳥町自治会長・の来賓の方々よりご祝辞と激励のお言葉を頂きました。



立正佼成会の子供パト



よし笛とシンセサイザーによる演奏²



続いて立正佼成会子供パトンクラブによるパトンとポンポンのダンスが披露され、会場から大きな拍手がありました。又、お楽しみのみくじ引き抽選会ではA特別さくら満開賞 B桜ぼんぼり賞 C白鳥川賞などが贈呈されました。また好評の桜餅も全員に配られました。

点灯カウントダウンでは副市長と吉田代表が揃ってスイッチを入れられ、今年のぼんぼりは全長約1000灯の間に235個が点灯しました。

白鳥川に鯉のぼり

鯉のぼり数は、長さ35メートルのロープ1本に20流、計3流れ60流。遊歩道の両端や医療センター前フェンスに70流。計130流の鯉のぼりが白鳥川上空になびきました。この催しの趣旨は市民の皆さんに喜んでいただければとの事で毎年行われています。注・流りゅう(巻)



医療センター前よし笛ロード



5月5日青空にたなびく鯉のぼり

児童の地域学習会

5月10日桐原東小学校3年生107名で地域学習会が行われました。目的は社会科の一環として「自然や人との触れ合いを通して自分達の町の良さに気付く、」をテーマに学習されました。内容は

①白鳥川流域の住宅街見学②白鳥川の概要や活動内容又鯉のぼりの、いわれ白鳥川にやってくる野鳥、白鳥川に自生する植物、等々写真・図表なども交え説明が行われ、児童の皆さんは熱心にメモを取られるなど感心されていました。



白鳥川に生息する生き物や植物の説明

近江八幡おやじ連 初イベント

ぶらぶらウォーク in 白鳥川

5月21日(土)「ぶらぶらウォーク in 白鳥川」が開催されました。目的は普段歩いていない方も気軽に参加できるウォーキング・孫や子供と世代を超えて歩く楽しみ・白鳥川周辺の自然に触れ近江八幡の歴史を再発見できる有意義な一日を提案・広く市民の健康増進を目指す地域活動の一環として開催されました。

コースは一般コース10キロコース、お散歩コース3.5キロコースで行われました。



おやじ連会長のご挨拶



総幹事長による挨拶と説明



宝さがし(割りばしにNo.)をされる子ども達



白鳥川をウォークされる参加者 5.21



ウォーキング途中で様々な説明

参加されました方のアンケートの一部を紹介します。

- ・地域の人と和気あいあいに散歩できて良かったです。
- ・お天気も良く風も気持ちよく子供も大喜びでした。有難うございました。お土産も沢山嬉しかったです。
- ・途中説明や休憩所での紙芝居等の配慮があり楽しく歩くことができました。
- ・これからも続けて下さい。
- ・おやじ連の皆様には何かから何までそして細かいところまでお世話になり本当にありがとうございます。楽しく素晴らしい一日をありがとうございました。又来ますね。

みんなの広場

谷口朝善

前回の白鳥川新聞を見て、近江八幡周辺の山々の写真に新たな感動を覚えました。私も長い間近江八幡を離れて暮らしていたこともあって、故郷に帰ってから近郷を散歩しています。

人は誰しも故郷を想う気持ちは、心の奥に大切にしまい込んでいたものです。桐原東小学校の生徒達も、白鳥川で魚取りを思い出す時がくるのではないのでしょうか。すばらしい思い出の一つとして・・・。

投稿者は故郷の思い出を次のように詠まれています。

〈俳句〉
神宿る 織山を 拝む秋

〈短歌〉
ふるさとの 風よ静かに 円山の 小鮒つりしは 幼きころよ

故郷の 八幡山に 登りきし 友と眺めた 景色かはりて

編集後記

今回の17号は特に多くのイベントが記事になりました。編集にあたり気づいた事、感じたことを載せさせて頂きます。

近江八幡市おやじ連の高橋代表がよく話されているお言葉に「ボランティアは決して人様に何かしてあげていると言ったことではなく、させて頂いている感謝の気持ちが大切。」があります。ぶらぶらウォーク in 白鳥川のスッタフの皆さんが一般市民の参加者に親切丁寧に接しておられる姿を見て、この言葉がボランティアの皆さんにも浸透されていると感じました。

『三方よし』
「自分よし」「相手よし」「世間よし」の近江商人の言葉を思い出しました。

白鳥川新聞投稿募集

白鳥川に関する事で投稿をお願い致します。思った事やイベントに関する感想その他写真でも結構です。検討して掲載させて頂きます。匿名希望でも結構です。